



2025年 4 月 22 日

各 位

上 場 会 社 名 : **富 士 精 工 株 式 会 社**
代 表 者 : 代表取締役会長兼社長 森 誠
コ ー ド 番 号 : 6 1 4 2 名 証 メ イ ン
問 合 せ 先 責 任 者 : 執行役員管理部門長 近藤 規央
T E L : 0 5 6 5 - 5 3 - 6 6 1 1

中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、2025年度（2026年 2 月期）から2027年度（2028年 2 月期）までの 3 か年の「富士精工グループ中期経営計画」を策定いたしましたので、お知らせいたします。

記

本中期経営計画は、大きく変化していく外部環境に対して、当社グループの長期経営ビジョンを明確にし、中期スパンで取組テーマと事業戦略を掲げ、その達成を目指すための最初の 3 か年の計画と位置付けております。

なお、詳細につきましては、添付資料をご覧ください。

以 上



中期経営計画2025-2027

2025年4月22日

I. 中期経営計画2025-2027について

II. 長期経営ビジョン

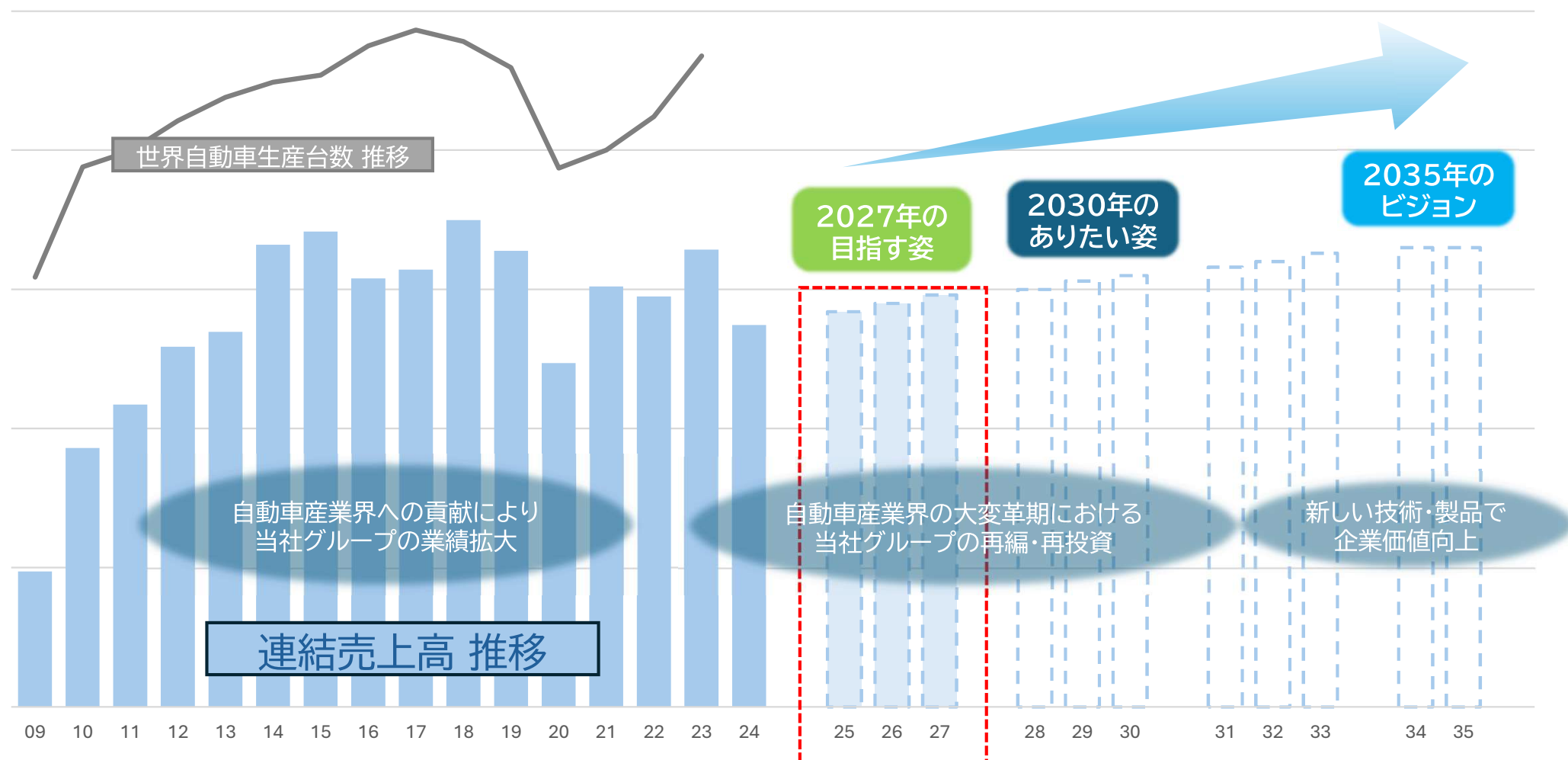
III. 事業戦略

IV. 経営基盤強化策



中期経営計画2025-2027の位置づけ

◆中期経営計画2025-2027は、長期ビジョンを見据えて、2025年から2027年までの3年間に
目指す姿を描きます



【世界自動車生産台数】 資料:GLOBAL NOTE 出典:OICA

中期経営計画2025-2027 経営指標目標値

- ◆直近3年で利益の出る体質への変換と投資効果の向上を目指してまいります
- ◆安定した配当金を支払い、株主還元を意識した経営を目指してまいります

	2025年度見込み (2026年2月期)	2027年度目指す姿 (2028年2月期)
営業利益率	-0.5%	3.0%
ROE 自己資本利益率	-0.2%	3.0%
EBITDAマージン*	3.0%	6.5%
設備投資額	10億円	10億円
株主還元	配当金 0円	配当金 50円

足元厳しい業況から脱し、目指す姿をさらに上回る事業成績を達成できるよう、市場環境を注視しながら事業戦略の活性化と将来の成長への足掛かりを並行して進めてまいります

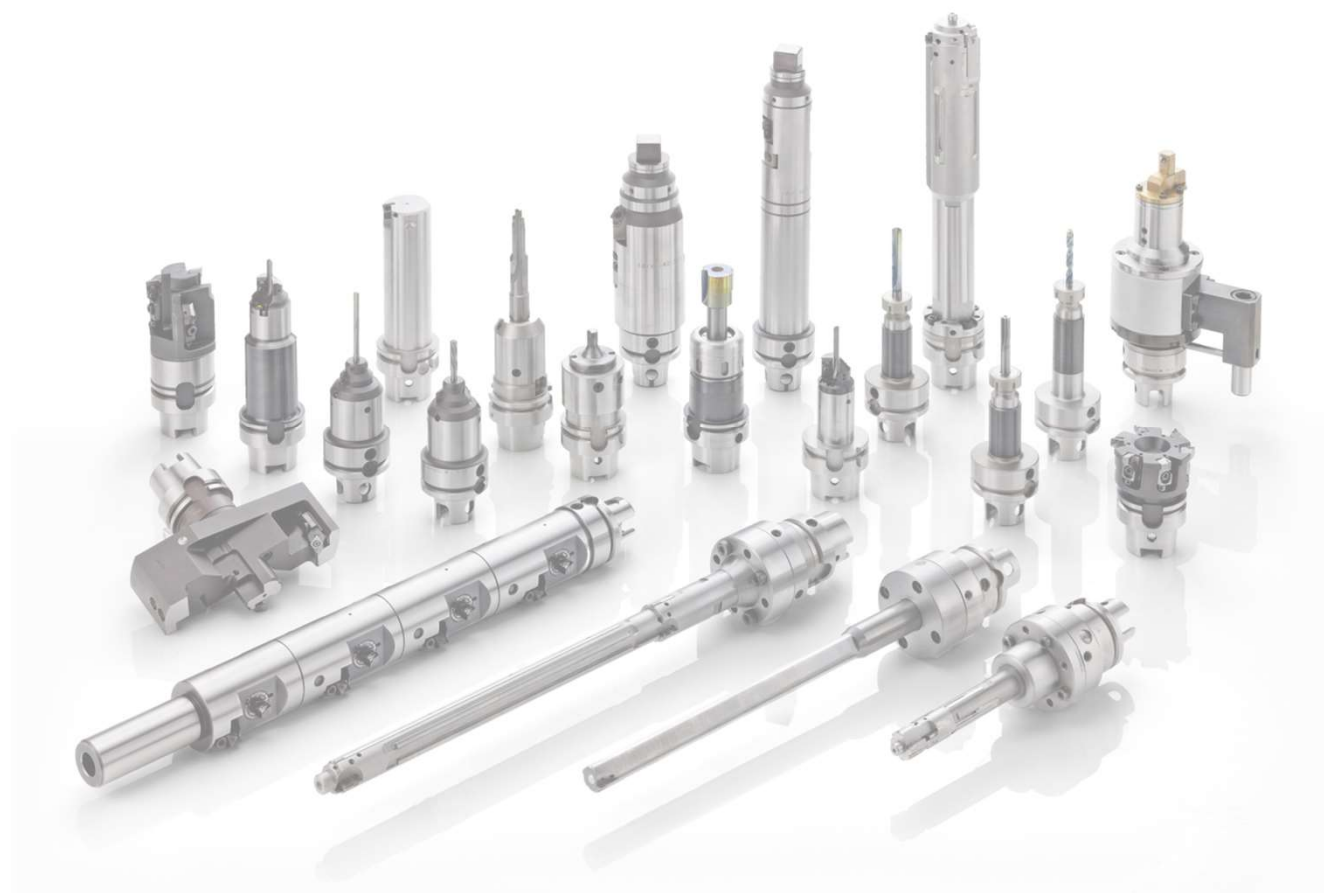
*EBITDAマージン=(営業利益+減価償却費)/売上高

I. 中期経営計画2025-2027について

II. 長期経営ビジョン

III. 事業戦略

IV. 経営基盤強化策



長期経営ビジョン <企業理念>

◆時代が変わっても変わらないものは「創業の心」であり、これを守り続け、当社に関わるすべての人にとって価値ある会社、信頼感ある会社になることを目指します

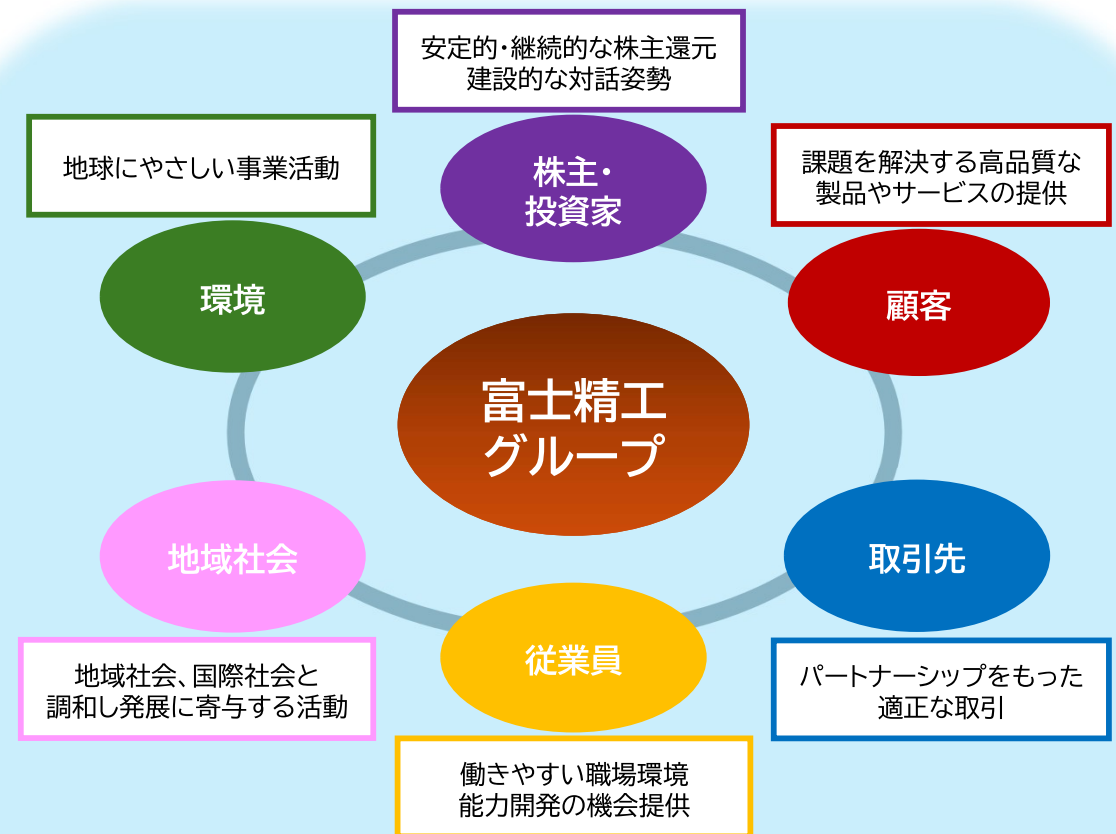
経営理念 誠実 高品質 顧客第一

経営基本方針

1. 社会への奉仕
2. 顧客への奉仕
3. 技術開発
4. 個人能力の開発
5. 職場の和

長期経営ビジョン
Good Company

当社に関わるすべての人にとって価値ある会社、信頼感ある会社になる



長期経営ビジョン <企業ドメイン>

◆当社は、「ものづくり現場の困りごと解決企業」としてお客様との結びつきを大事にし、培ってきた職人の志と新しい技術によって、お客様のものづくりの生産性を最大限に引き出す企業であり続けます

**FTE (FUJI Total Engineering) から
FTCE (FUJI Total Connected-max Engineering)へ進化**

「お客様の工具室」から「お客様の生産技術」までを担う会社へ

FTE

工具・周辺機器の設計製作、自動車部品加工ラインの生産準備、量産開始後の工具管理等のアウトソーシング引き受け等、工具に関するあらゆる仕事をトータルサポートするビジネス

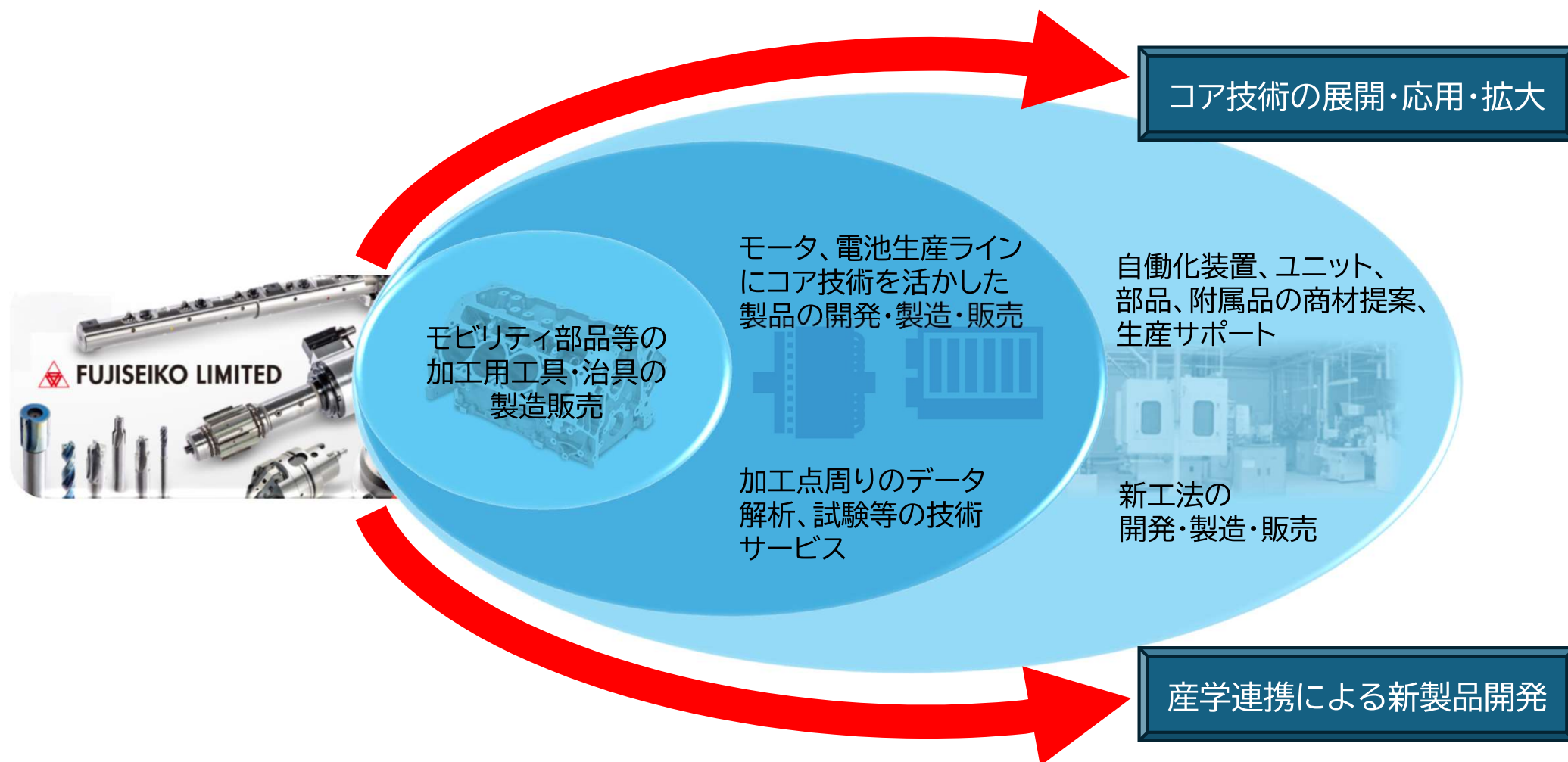


FTCE

工具・周辺機器に関する多様なニーズ、テクノロジー、データ、ものづくりを当社のソリューションでつなぎ合わせ (Connect)、顧客の価値創造の最大化 (Max)をサポートするビジネス

長期経営ビジョン <事業領域>

◆ものづくり現場に関わる工具・治具・装置等の製造販売ならびに周辺技術のサービス提供をおこなうことを当社グループの主要ビジネスとしており、これを拡大してまいります



長期経営ビジョン <SDGsへの取組>

◆国際社会の一員として、当社の事業活動を通じて社会的な責任を果たしてまいります

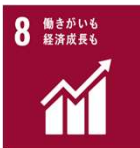
気候変動への取組

事業活動による環境への影響を理解し脱炭素社会への取組や温室効果ガス排出量の削減に取り組めます



健康経営と安全な職場

従業員の安全と健康を重視し、働きがいを持って能力を発揮し、多様性を生かした事業活動ができるような職場環境を整えます



コーポレートガバナンスの充実

企業倫理を重視した事業活動を行い、コーポレートガバナンスを充実させた企業としてステークホルダーに対して社会的責任を果たしてまいります



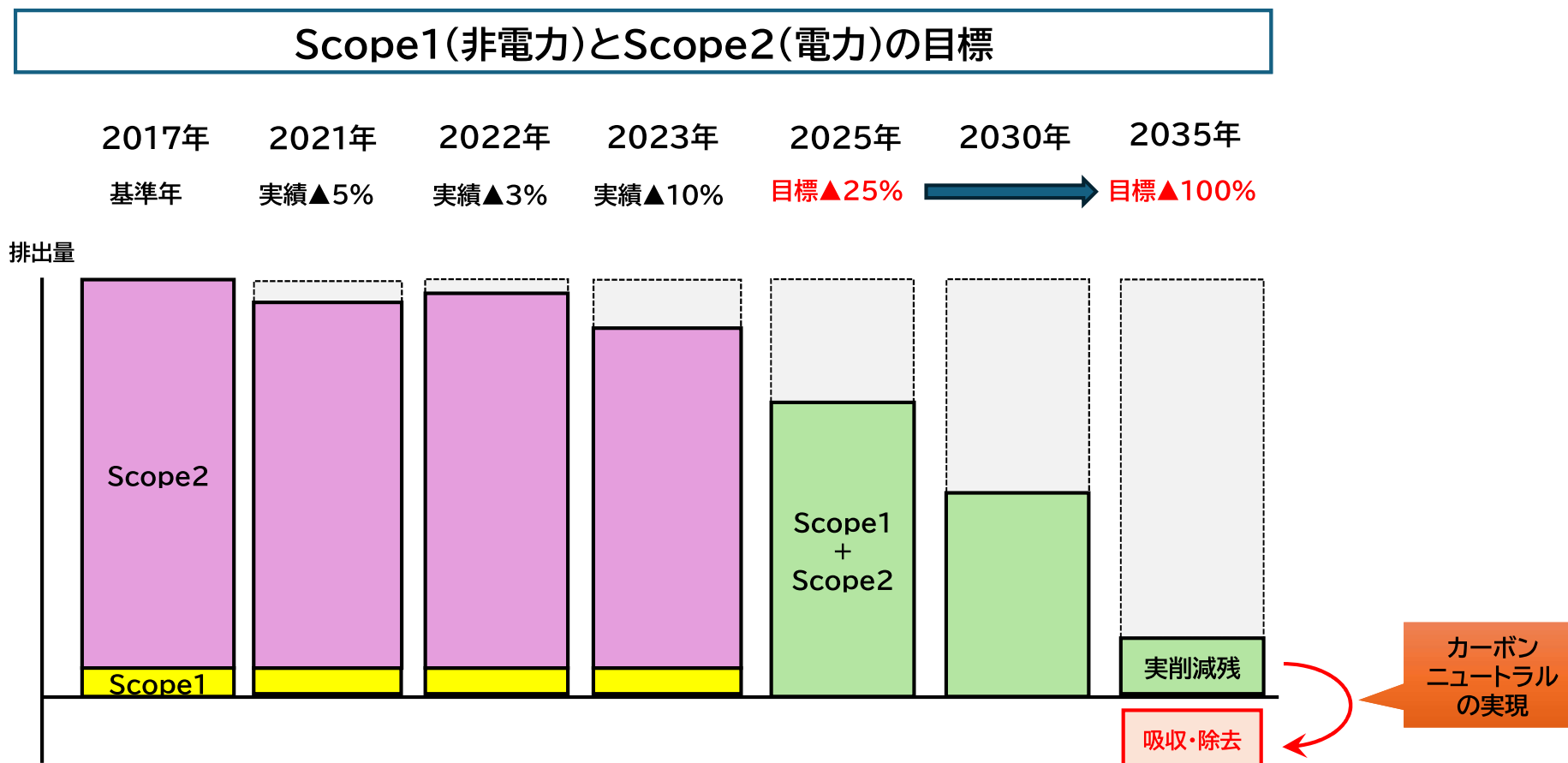
資源の有効活用

当社製品はレアメタルなどの地下資源を原材料としたものがあり、限りある資源を無駄のないようにつかい、再生活用などの技術を開発していきます



長期経営ビジョン <カーボンニュートラル宣言>

◆富士精工は、事業活動で生じる スコープ 1、2のCO2排出量を、**2035年までに実質ゼロ**にする
目標を掲げて取組みを行います



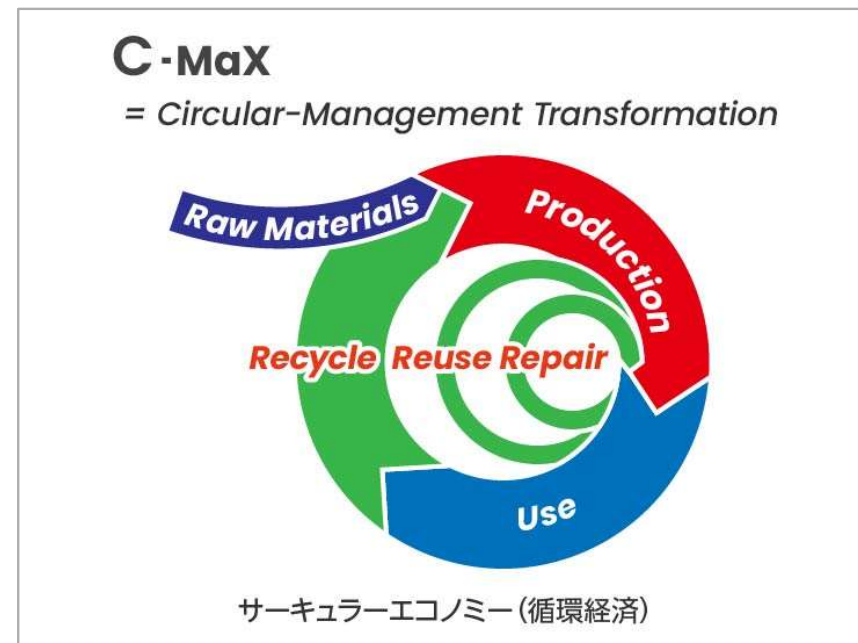
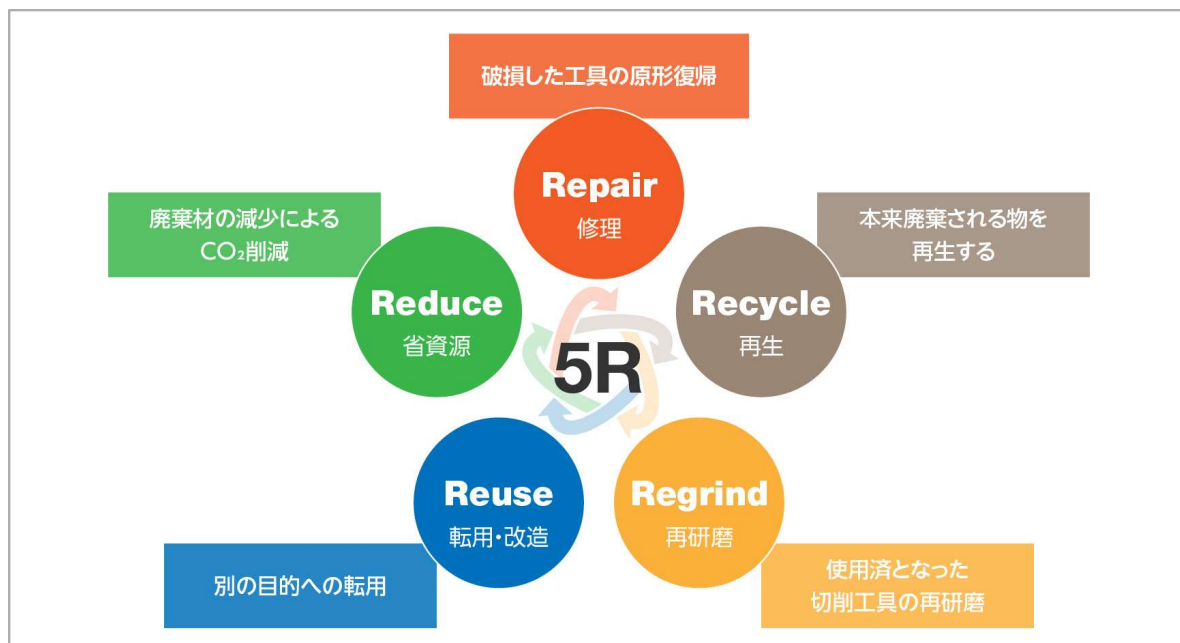
長期経営ビジョン <「C-MaX循環企業」への進化>

- ◆企業コンセプト「C-max」に新たな意味づけを行い、新しい事業へのキーワードとしてサステナビリティ(持続可能な成長)を目指してまいります

C-MaX = Circular-Management Transformation

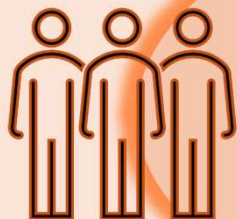
サーキュラーエコノミー型ビジネスモデルを目指し、新しいサービスをつくりだす

当社は時代の流れに合わせて省資源・環境配慮を事業コンセプトに加えてまいりました
これからも環境に配慮した事業展開・製品開発を行ってまいります

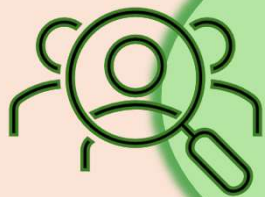


長期経営ビジョン <働く環境の整備と人材開発>

◆厳しいビジネス環境においては従業員の活力が重要と考え、個人の能力アップや新たな人材の確保を図り、充実した“働く環境づくり”を進めてまいります



従業員の個々の能力や経験値を高め、その知識や技能をもって企業活動に貢献できる人材が長く働くことができる環境づくり



多様なバックグラウンドや視点を持った人材を採用し、異なる視点や経験を持ち寄ることで、競争力を維持しビジネスの推進力を高める

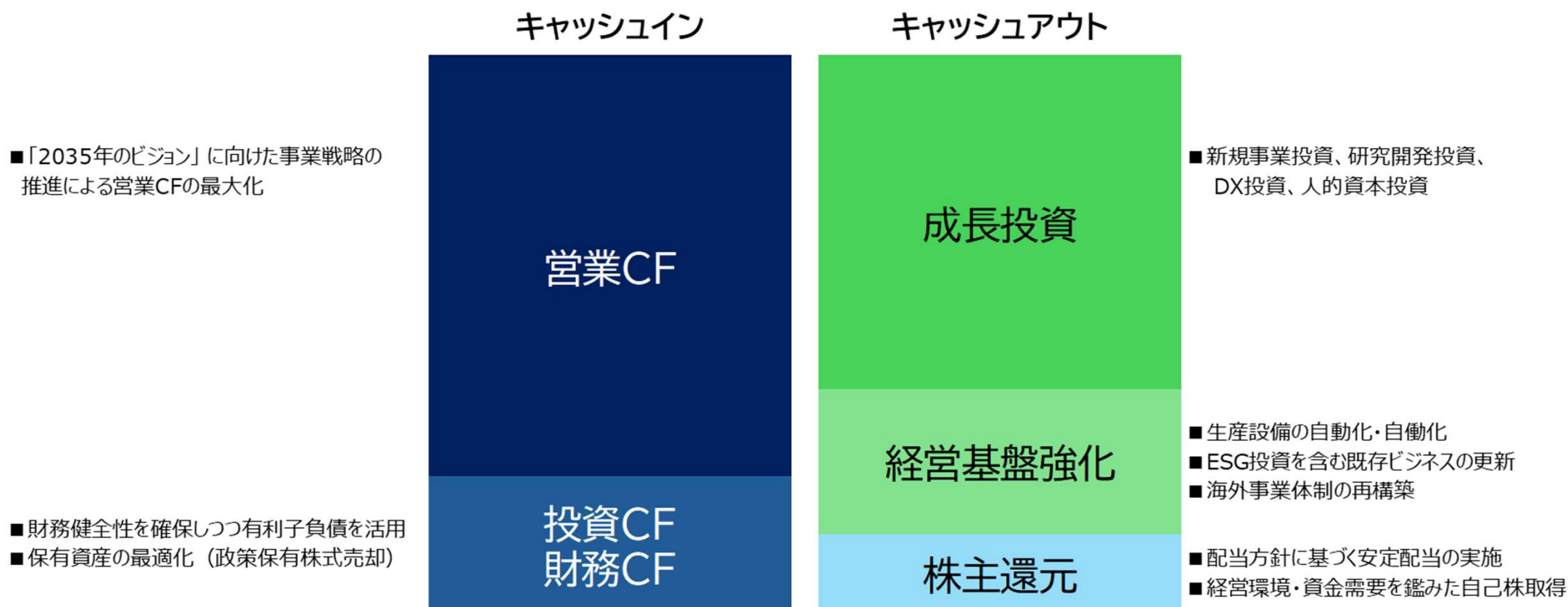


働きがいを感じられるようなインセンティブ制度、自己の成長や将来を見通すことのできる人材育成ロードマップの提示など、人事・賃金・評価制度の改革実施

長期経営ビジョン <キャピタルアロケーションの方針>

◆成長投資、経営基盤強化、株主還元のバランスを確保しながら経営資源を適切に配分し、持続的な企業価値の向上につとめます

<方針イメージ図>

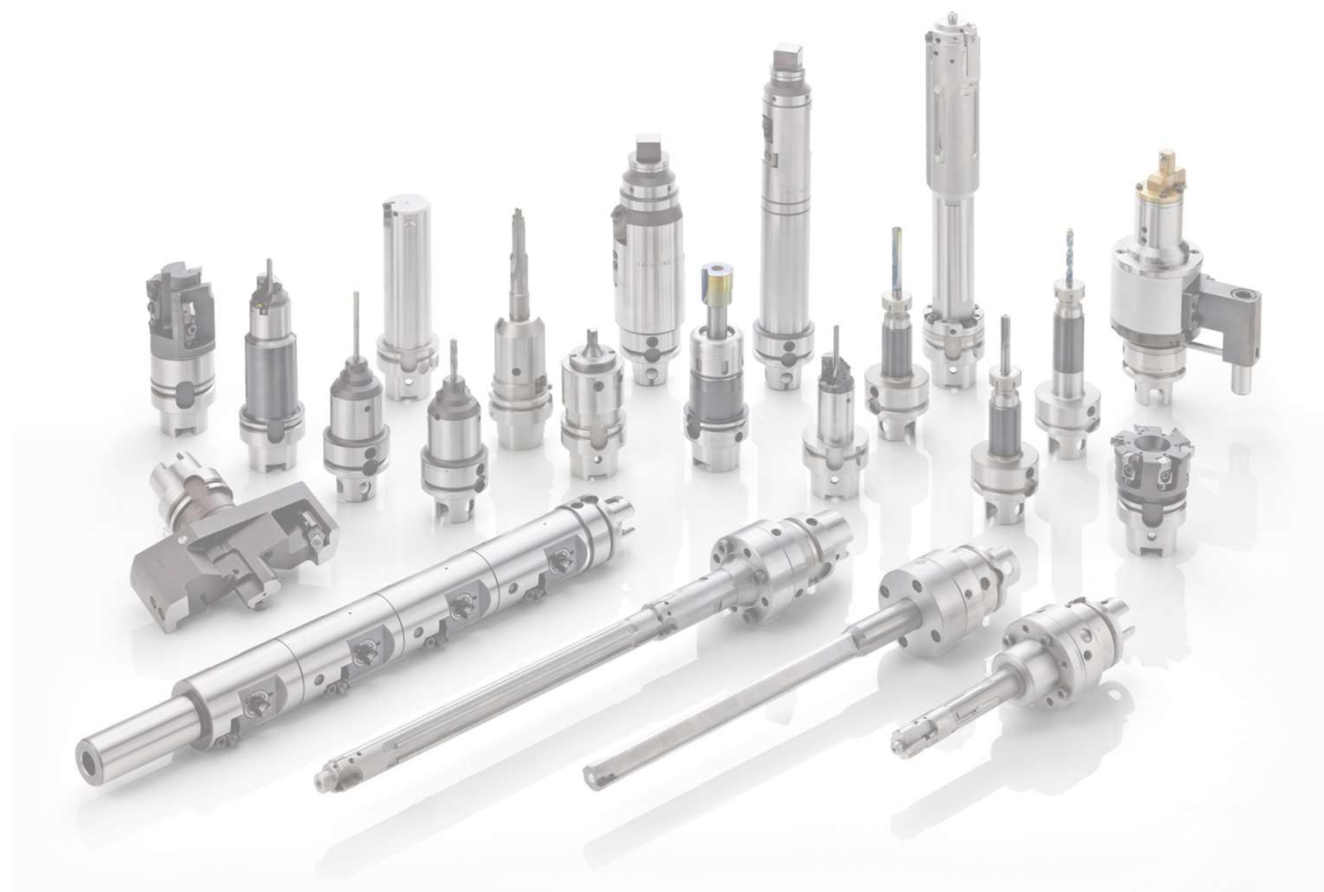


I. 中期経営計画2025-2027について

II. 長期経営ビジョン

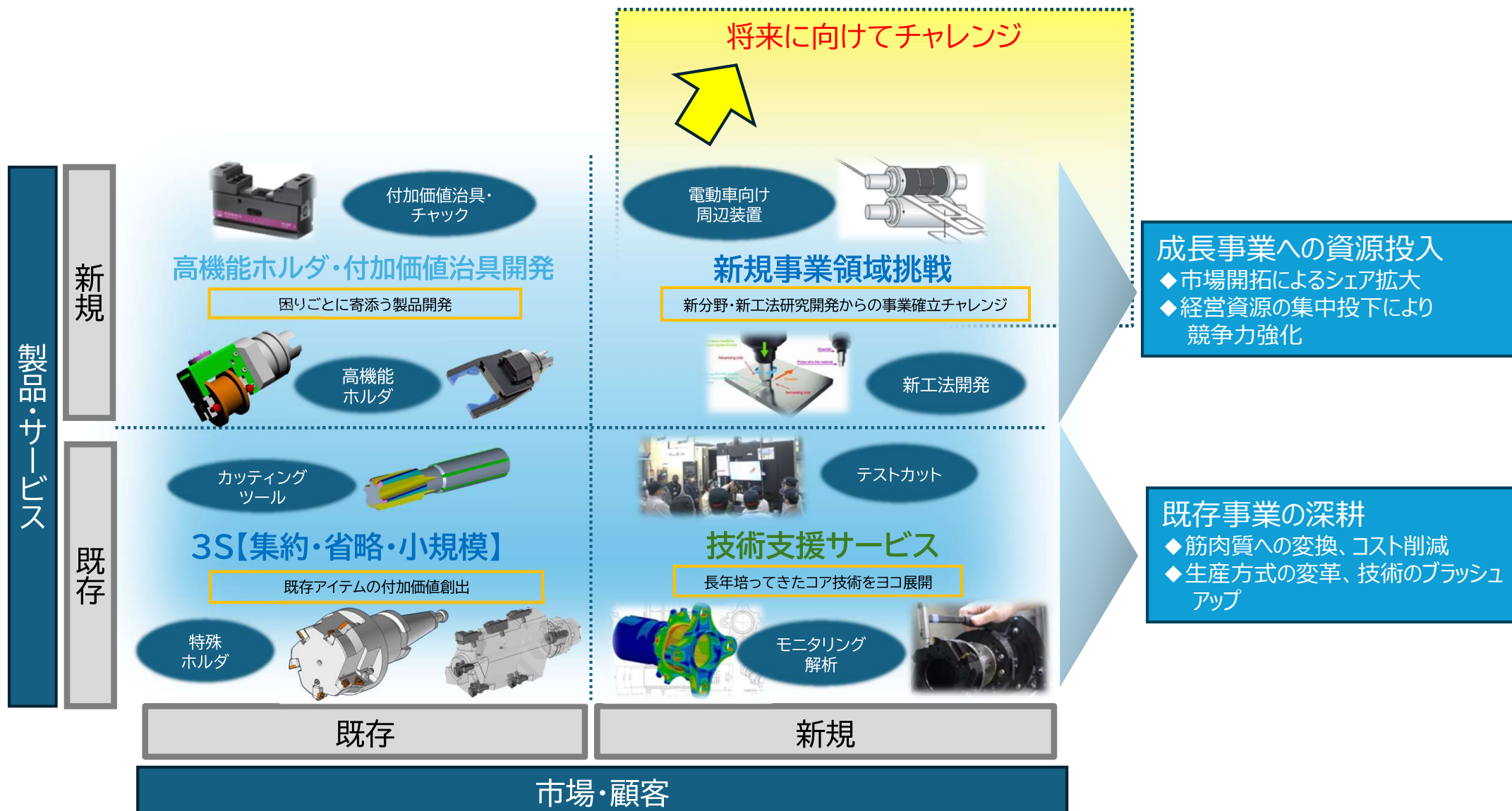
III. 事業戦略

IV. 経営基盤強化策



事業戦略 <主力製品・サービスの展開>

◆主力製品・サービスの位置づけを明確にしたうえで、分類ごとに方向性と戦略を決定いたします
特に『新規事業領域』へは積極的な展開をすすめます



事業戦略 < 電動車向けビジネスの拡大 >

◆市場の変化に乗り遅れることなく、当社のコア技術を展開拡大して電動車のモータおよび電池の生産に貢献する工具・治具・ユニット等周辺装置の開発、製造の強化にチャレンジいたします

< 電動車向けビジネスの拡大イメージ図 >



* ICE車(Internal Combustion Engine車):内燃機関を搭載した車

I. 中期経営計画2025-2027について

II. 長期経営ビジョン

III. 事業戦略

IV. 経営基盤強化策



営業戦略

【基本的活動】

- ・ 電動車市場でのC-maxブランド確立・強化
- ・ 技術、生産技術と連携した自社発信製品の拡販、技術サービスの拡大
- ・ 世にないものを具現化し顧客を拡大

【重点施策】

- ・ HEV対策:主力製品改良と死守、顧客拡大
- ・ BEV対策:客先に先駆けた技術手の内化と製商品化
- ・ 工場FA化に貢献するチャック・治具類の拡販と振動解析・3D積層造形等の技術サービス
拡販
- ・ 計測の困り事解決を切り口にした他社協業活動を拡大しつつ、潜在的な顧客ニーズを分析

経営基盤強化策

技術開発戦略

【基本的活動】

社会と顧客の課題を共有し、共に解決していくため、期待を一步上回る製品とサービスを提案し、更に未来に必要な製品とサービスの開発を続ける

【重点施策】

- それぞれの顧客のニーズや顧客らしさに最適化した工具や治具などを開発、提供してきたことで培った当社のコア技術を、顧客の変化に応じてブラッシュアップ
- 環境問題や少子高齢化など、社会と顧客の課題解決のための製造ソリューション開発
- BEVやPHEV、FCVなど、新エネ車の生産現場に向けた製品開発の拡大
- 加工の最適化のための、センシング(モニタリング、解析、分析)技術開発とサービスの強化

経営基盤強化策

モノづくり戦略

【基本的活動】

顧客や社会の求める製品(高品質、納期遵守、低コスト、環境負荷等)を安全な環境で作
り出す

【重点施策】

- ・ 顧客のニーズと顧客らしさに応じるため、当社の変種変量生産の強みはそのままに、更に自動化の両立を目指していく
- ・ 環境問題や少子高齢化など、社会と顧客の課題解決のため、自動化技術とデジタル技術を活用した人と地球にやさしい生産を追求
- ・ BEVやPHEV、FCVなど、新エネ車の生産に貢献するための製品の競争力を付けるべくそれらの製造・生産技術を強化

経営基盤強化策

人事戦略

【基本的活動】

- ・ 個人と会社の成長につながる人材育成
- ・ 多様性を意識した人材活用、採用活動

【重点施策】

- ・ 人事評価制度の再構築とキャリアアップの条件確立
- ・ 教育プログラムの充実
- ・ キャリア採用、障がい者・外国人・女性活躍の拡大

経営基盤強化策

DX戦略

【基本的活動】

- データとデジタル技術のフル活用
- 働き方を変える、経営スピードを向上するためのシステム運用

【重点施策】

- 基幹システムの再構築
- 情報システムセキュリティの強化、システム面でのBCP確立
- 情報の活用、AIや最新ツールのビジネス利用

本資料に掲載されている将来の予想等に関する記述は、資料作成時点で入手した情報に基づき当社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

したがって、実際の業績は様々な要因により、これら業績予想とは異なる結果となる可能性があります。

また、これらの情報は、今後予告なしに変更することがあります。したがって本情報および資料のご利用は各自のご判断と責任においてご使用いただき、その結果につきましては当社は何らの責任を負うものではありませんことをご承知おきください。

